

## 柏野・翔鸞小学校統合準備委員会だより 第②号

※柏野・翔鸞の地域・PTA・学校の代表者で組織する「統合準備委員会」が発行しています。令和4年12月発行

### 柏野小学校と翔鸞小学校の統合要望書を教育委員会へ提出します

11月22日（火）に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のうえ、関係者が一堂に集まり統合協議を進める場として本年10月に発足した、「柏野・翔鸞小学校統合準備委員会」の第2回会議を翔鸞小学校において開催しました。



協議の結果、これからの子どもたちのために、両校の教育内容を融合し、教育活動や教育環境を充実させてほしいといった思いを盛り込んだ統合要望書がまとまりました。主な内容は下記のとおりとなり、12月中に両地域の代表者の連名により、教育委員会へ提出する予定です。

今後、令和7年4月の翔鸞小学校での統合を目指して、両地域の連携を一層深め、より良い学校づくりに向けて取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

#### ◆統合要望書の主な内容

- 令和7年4月から、柏野小学校を翔鸞小学校へ、校名を変更することなく統合していただきたい。
- 統合にあたっては、両校の教育内容を融合し再構築を図るなど、教育活動の充実に努めていただくとともに、翔鸞小学校において必要な施設を改修し、子どもたちがいきいきと活動できる教育環境を整備していただきたい。
- 子どもたちや保護者が戸惑うことなく、安心して統合の日が迎えられるよう、十分な教育的配慮のもと、両小学校児童による事前交流など統合準備の取組を進めていただきたい。
- 通学路が変更となる柏野小学校区児童の通学安全対策については、地元や保護者はもとより関係機関とも十分連携して、万全を期していただきたい。
- 閉校となる柏野小学校については、地元の自治活動による利用に配慮するとともに、跡地活用については、地元の意向を反映して進めていただきたい。

次号「統合準備委員会だより第③号」では、統合要望書提出の様子と、学校統合までの今後の予定についてお知らせします。

また、学校統合に向けた考え方などについて、裏面に掲載しています。

ご意見やご質問などがありましたら、各学校までお寄せください。

■柏野小 TEL：461-8330 FAX：461-1389  
e-mail：kashiwano-s@edu.city.kyoto.jp

■翔鸞小 TEL：462-0084 FAX：462-0086  
e-mail：syoran-s@edu.city.kyoto.jp

## ～柏野小学校・翔鸞小学校の統合について～

柏野小学校と翔鸞小学校の統合に向けては、各学区での地域協議の場や学校へのお尋ねの中で、以下のようなご質問がありました。

「今、柏野小と翔鸞小が学校統合しないといけない状況なのでしょうか。」

「統合すると、どこに通うのでしょうか。校名はどうなるのでしょうか。」

「学校施設は新しく建て替えられるのでしょうか。」

「令和7年度よりもっと早く統合できないのでしょうか。」

「学校統合すると地域活動も統合されるのでしょうか。柏野小学校はどうなりますか。」

地域協議の場などでは、教育委員会にも確認しながらご説明しておりますが、このたび、柏野・翔鸞両学区として学校統合を要望するにあたりまして、改めてこれまで協議・確認してきた学校統合についての考え方についてお知らせします。

○令和4年度の児童数は、柏野小学校が110名、翔鸞小学校が186名、両校とも1学年1クラスでクラス替えがありません。学校統合により児童数が増え、クラス替えができることで、子どもたちが多くの友達との交流の中で、多様な考え方や意見に触れ、お互いに切磋琢磨しながら成長できる環境が望ましいと考えています。

○統合すると、柏野・翔鸞両学区を合わせた地域のほぼ中心にある翔鸞小学校へ両学区の児童が通う想定です。統合後の学校名は「翔鸞小学校」と考えています。

○翔鸞小学校では、平成25年に校舎の耐久性向上を図る長寿命化改修工事が実施されたこともあり、これからも現校舎を活用することになります。統合により児童数やクラス数が増え、教職員数も増えるため、統合前に施設整備の期間が2年間ほど必要となるので、令和7年4月統合を予定しています。

○学校が統合しても学区は統合されません。地域活動については、これまで通り各学区で行われますが、子どもが参加する行事の案内などは、今後、両学区で考えていきたいと思えます。

○学校統合すると、柏野小学校は閉校施設として管理されますが、地域の自治活動の場としての利用や避難所などの機能は引き続き残ります。

今後とも、子どもたちのより良い教育環境の充実に向けて、両学区の力を合わせて、検討・協議を進めてまいります。